



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1741

2011年  
12月5日

# 国労加入を 大胆に訴えよう

わけではない。  
組人的交流の具体的な考えを明らかにすること。新入社員のライフサイクルについては、現行どおりでやっていくのか。  
会 仕業や機動班業務を経験して広げていくということになれば、全てではないがグループ会社との相互交流もあろう。新入社員は基本的に現行どおりのライフサイクルである。技術の幅を広げるといってグループ会社に行ってもいいことも出てくる。車両センターに一年後に戻ったら基本的には保全業務を主体にやってもいいが、ゼロではない。極端なレアケースではないと考える。

輸送障害に直結するような業務を含んでおり、今後の輸送体系を見ながら検討していきたい。概ね東京から五〇キロ圏内、ホーム検査専門で複数線区乗入れている所と考えている。  
組 どのあたりまでを五〇キロ圏内と指すか。また、〇六年に発表した「首都圏輸送障害」の低減では一〇〇キロ圏内で派出の強化と謳っていたが、輸送環境等が変わってきたか。

## 「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」交渉報告

「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」交渉を約二年ぶりに再開する。

「グループ会社と一体となった業務体制の更なる推進」とは、総合車両センター(工場)・車両センター(運転区所の検修)など運転検査部門の外部委託を高度化させる施策として、JR東日本会社が〇九年一〇月に提案しました。

JR東日本会社は、本施策によって「エルダー社員の技術力・ノウハウを生かせる仕事(出向先)を拡大する中で、JRグループ全体の技術基盤を確立し、技術力の継承・維持・発展をめざす」と説明していますが、職場では「直営で行う作業が無くなれば、鉄道の歴史で培ってきた技術が、継承されるとは思えない」、「グループ会社へ出向するも、戻る職場が無くなるのではないか」、あるいは「業務委託によって常に『偽装請負』を問われるような、作業指示が避けられないのではないか」、などの疑問や不安が率直に出されています。この間、提案直後に本社と東日本本部の間で、第一次解明交渉が開催されてきたものの、その後の交渉が行われず施策の実施時期も不明のまま推移してきたものです。しかし、約二年を経て、一〇月三〇日以降第二次解明交渉が三回にわたり開催されました。本交渉で明らかになった事を中心に報告し、今後地方提案が予測されるも、改めて職場から論議を深めて頂きたいと考えます。

《今後の実施時期等について》  
(組合、以下組) 実施時期は明言できないが、明らかにすること。  
(会社、以下会) 実施時期は明言できないが、労働組合との議論を踏まえて、可及的速やかに実施していきたいと考えている。実施にあたっては、全ての対象箇所、全ての提案している業務を一括して委託を考えている。  
《偽装請負などの法令違反の懸念について》  
組 指揮命令系統などで偽装請負にならないようにするためにどう取り組んできたのか。  
会 ① 指揮命令系統については、日々の作業や作業変更に伴う指示などを依頼するときは、作業責任者を通じてグループ会社の作業員に伝達していく体制を整えてきた。緊急やむを得ないケースが発生することは否定できないが、平常時でも異常時でも、基本的には作業責任者を通じて指示していく。② 社員に対する教育として、労働者派遣法などの知識を周知してきた。また、業務発注などのやり方で労働者派遣法を踏まえた教育をやってきた。  
③ 現場において、連絡体制のフローチャートをつくり連絡体制を整えた。今後も派遣法の主旨を踏まえ偽装請負と疑問を持たれない体制を取り組んでいく。  
組 例え、① 指令が請負先の作業者に指示することがある。② 構内の入換作業における信号所との作業指示の関係は。  
会 ① そのようなことをやることは良くないが、常態化しないように体制をとっていく。  
② 作業場でのやりとりは運転取扱上の必要

### 国労東京 マラソン大会 2012年1月14日 皇居一周 or 二周 申し込みは地区本部 支部へ

### 国労加入 呼びかけポスター 募集中 A4サイズ 1月末まで

### 春闘標語 募集中 地区本部・支部 経由で願います 1月末まで

組 出向して戻す考えはもっているのか。若年出向はありうるのか。  
会 同業種というわけにはいかないが、出向から戻って本場で別の業務をやっても戻らう考えは持っている。移行の段階では若年出向はありうる。  
組 直営業務の考え方を明らかにすること。  
会 計画業務や入出場検査などは本場でやっていきたい。今後技術が向上していくような電子機器などの技術センターや「走り装置」などについては直営でやっていきたいと考えているが、それ以外を今後全て委託するという

組 出向して戻す考えはもっているのか。若年出向はありうるのか。  
会 同業種というわけにはいかないが、出向から戻って本場で別の業務をやっても戻らう考えは持っている。移行の段階では若年出向はありうる。  
組 直営業務の考え方を明らかにすること。  
会 計画業務や入出場検査などは本場でやっていきたい。今後技術が向上していくような電子機器などの技術センターや「走り装置」などについては直営でやっていきたいと考えているが、それ以外を今後全て委託するという

今施策の考え方の中で、会社は長年培ってきた技術を継承し発展させると云い、今後発展して行く事が見込まれる技術については、引き続き技術管理を直営で回すことを示しています。しかし、果たして現場から直接JRの労働者が関わり、維持管理する技術が極端に少なくなっていく中で、会社のこの考えが維持出来るのかなど、業務委託の根本的な矛盾を含め、業務の指示命令系統や労働条件、労働者の処遇など具体的な検証と要求の練り上げが必要です。地方本部は、関係機関と連携し、引き続きこの施策の検証と、地方提案に備えていく体制を確立して行きます。

組 出向して戻す考えはもっているのか。若年出向はありうるのか。  
会 同業種というわけにはいかないが、出向から戻って本場で別の業務をやっても戻らう考えは持っている。移行の段階では若年出向はありうる。  
組 直営業務の考え方を明らかにすること。  
会 計画業務や入出場検査などは本場でやっていきたい。今後技術が向上していくような電子機器などの技術センターや「走り装置」などについては直営でやっていきたいと考えているが、それ以外を今後全て委託するという

組 出向して戻す考えはもっているのか。若年出向はありうるのか。  
会 同業種というわけにはいかないが、出向から戻って本場で別の業務をやっても戻らう考えは持っている。移行の段階では若年出向はありうる。  
組 直営業務の考え方を明らかにすること。  
会 計画業務や入出場検査などは本場でやっていきたい。今後技術が向上していくような電子機器などの技術センターや「走り装置」などについては直営でやっていきたいと考えているが、それ以外を今後全て委託するという

組 出向して戻す考えはもっているのか。若年出向はありうるのか。  
会 同業種というわけにはいかないが、出向から戻って本場で別の業務をやっても戻らう考えは持っている。移行の段階では若年出向はありうる。  
組 直営業務の考え方を明らかにすること。  
会 計画業務や入出場検査などは本場でやっていきたい。今後技術が向上していくような電子機器などの技術センターや「走り装置」などについては直営でやっていきたいと考えているが、それ以外を今後全て委託するという

# 各地区本部・支部大会開催

## 神奈川県本部

第一六回神奈川県本部大会は一〇月二二日(土)、神奈川県民ホール会議室において中村副委員長の開会の挨拶により開催、議長には神田代議員(鎌倉駅分会)、副議長には保田代議員(新川崎駅分会)を選出し議事に入った。

第一六回大会は、姉崎委員長長の挨拶から受け取れるように、七月に行われた全国大会での「JR不採用問題」の闘争終結の確認・決定を受けての総括と、この間の闘いで培った団結力と運動を今後の闘いに向けて活かし、組織拡大、職場生産点からの運動の構築、国労にしかできない取り組みをどのように作っていくかが、まさに問われる大会であった。

ご来賓の方々からは、一緒に闘ってきた「JR採用差別事件」の終結へのねぎらいの言葉、これからの運輸産業にかけられた攻撃や反原発や生活を脅かす問題に対し、国労とこれからは一緒に闘う力強い連帯の挨拶がされた。



また、経過・運動方針の討論からは九名の発言があり、二四年にも及ぶ国鉄闘争の歴史を無駄にしない運動を、契約社員の本社員の取り組みに本腰を入れるべき、エルダー社員の労働条件改善の窓口を作るべき、組織拡大への取り組みの報告、貨物出向職場の実態、地震における貨物輸送の見直し、効率化・委託化による、ゆとりなしの職場等々の切実な実態や今後の取り組み方向性が明らかになった。

神奈川県本部大会代議員は五三名だが、代議員を上回る傍聴者が参加して大会の成功を見守っていた。全体で真剣に取り組む姿、これが国労の財産だと思おう。

大会は「原発からの撤退、原子力空母・艦船の横須賀母港撤回、再生可能エネルギーを目指す特別決議」「分会活動強化・組織拡大に全力をあげ多数派実現を目指す特別決議」二本を採択。最後に姉崎委員長長の「団結頑張ろう」で閉会した。

地区本部は、一月九日には、今まで裁判・地労委闘争に関わってきた神奈川の弁護士や共闘組織に呼びかけ、今後の国労運動に向けたJR不採用問題の総括学習会と交流会を開催してゆく。

**新橋支部**  
新橋支部は、一月一二日に南部労政会館に於いて第七六回定期支部大会を開催した。

大会議長には清水代議員(新橋保線区)副議長に鳩貝代議員(渋谷駅)を選出して議事が進められた。谷崎委員長からは、不採用問題の解決にあたり組合員・闘争団・家族の奮闘に敬意を表し、諸課題の改善の取り組み強化を訴え、さらに最重要課題である組織拡大では支部で二名の拡大ができ、今後も奮闘しようといさつがされた。続いて多くの来賓の方から激励のあいさつを受け、音威子府・東京闘争団からもあいさつを受けた。昼食休憩時にメッセージの紹介



介と中野電車区の機関紙表彰を行った。

一般討論では国労に加入した仲間を紹介も含め一六名の代議員から①女性社員が多くなり静養休暇などが取れる要員の確保の取組み②震災以降の現場の対応と液状化現象に対する対策の遅れ③エルダー職場の劣悪な労働条件と職場環境の改善④グリーンスタッフの正社員化を求める取組みの強化⑤JAL支援の取組み⑥組織強化・拡大の取組み⑦ホーム柵稼働にもなうホーム要員の確保⑧TPP・増税など許さない取組みの強化⑨業務体制の見直し・外注化の問題点などの発言がされた。

書記長集約のあと全体の拍手で運動方針が承認され、その後、スト権を確立。新執行部を選出して、闘う決意を確認し、最後に谷崎委員長長の団結がんばろうで大会を終了した。

## 大井工場支部

国労大井工場支部第九二回定期代議員会が一月二二日(土)東京総合車両センター一〇一号室に於いて開催された。

伊東副委員長の開会の挨拶で始まり、開会時刻午前一一時現在、代議員一九名中一七名の出席、執行部七名中七名の出席を確認。開会が宣言され、続いて議長には高橋代議員(台車科)副議長には古賀代議員(車体科)を選出した。木村執行委員長挨拶につづいて各来賓か



らの挨拶、上部機関である東京地本、松川書記長から情勢報告を含めた挨拶がされた。議題に入り代議員会、延期承認のあと二〇一〇年度経過報告及び二〇一〇一〇一〇一年度運動方針(案)が提案され午前中の議事を終了して休会となった。再開後、今年には役員改選なので選挙管理委員会が設置され、その後、決算・会計報告を受け質疑応答に入り七名の代議員から、外注化による仕事への不安や労働条件の悪化、昇進・昇格の合格率、組織拡大への取り組み、反原発・脱原発の闘いエルダーの労働条件や職場環境問題、などの発言がされた。

書記長集約では①JR不採用問題の終結について②労働条件改善・安定輸送確立に向けた取り組み③組織強化・拡大についての④平和と民主主義を守る闘いについての四点にわたり集約がおこなわれ、経過と方針が全会一致で承認された。その後、二〇一〇年度予算(案)が提案され質疑応答後、承認された。

選挙管理委員会から新役員の発表があり新旧役員の挨拶があり、その後、二〇一〇年度予算(案)が提案され全会一致で承認。白井執行委員長から代議員宣言が読み上げられ一年間の運動を代議員全員で確認し、最後に木村委員長の団結がんばろうで代議員会は無事に終了した。

### 「がん」の保障 《生きるためのがん保険Days(デイズ)》

スタンダードプラン 入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金	がんの場合 上皮内新生物の場合	一時金として 100万円 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金	抗がん剤治療を受けた月ごとに 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のと (すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	1カ月 10万円 1カ月 5万円

プレミアムサポート 訪問面談サービスと専門医紹介 (このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

【引受保険会社】 アフラック東京第三法人営業部  
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル  
当社保険に関するお問い合わせ・各種手続き

【募集代理店】 アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

コールセンター **0120-5555-95** 電話 **03-3437-6810** ファックス **03-3437-6822**

### 「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料 (団体取扱)

生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン  
入院給付金日額 10,000円 定額タイプ  
保険料払込期間: 終身 (抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

〈抗がん剤治療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

【取りまとめ先】 アベニール株式会社 東京営業所  
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-55-1 国労東京地方本部内

JR電話 **054-2548** ファックス **03-3806-9275**  
電話 **03-3806-9264**

©詳しくは、パンフレット (契約概要) をご覧ください。 AF007-2011-0186 4月25日